

まもり

題字：京都府知事 西脇隆俊氏 揮毫

令和7年8月

93号

93号トピックス

令和7年度通常総会開催

・令和6年度事業報告 等

京都市消防局

特定小規模施設用自動火災報知設備の設置範囲の拡大について

一般社団法人 **京都消防設備協会**

〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下る妙満寺前町450番地(京都共済消防会館内)

TEL(075)231-7601 FAX(075)231-6385

E-mail : info@kyoto-setsubikyokai.or.jp

URL : <http://www.kyoto-setsubikyokai.or.jp/>



経ヶ岬灯台（重要文化財建造物）

2025年度 全国統一防火標語

「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

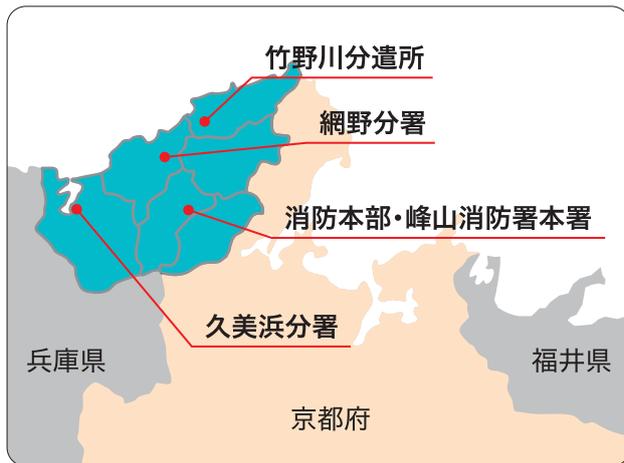
まもり

第93号 目次

一般社団法人 京都消防設備協会

- ◆ 表紙：経ヶ岬灯台（重要文化財建造物）
- ◆ 令和7年度通常総会
 - 令和7年度通常総会…………… 3
 - 瀧中会長あいさつ…………… 4
 - ご来賓祝辞 澤熊防災監様…………… 5
 - ご来賓祝辞 名畑会長様…………… 6
 - 令和6年度事業報告…………… 7
 - 貸借対照表・正味財産増減計算書…………… 9
 - 令和7年度事業計画…………… 11
- ◆ 消防関係法令改正通知コーナー…………… 12
- ◆ 特定小規模施設用自動火災報知設備の設置範囲の拡大について…………… 13
- ◆ 協会だより 入会正会員等一覧…………… 14
- ◆ 行政短信 編集後記…………… 15

京丹後市消防本部 管内情勢



京丹後市の地勢とあゆみ

京丹後市は、日本海に面する京都府の最北端、丹後半島に位置し、6町が平成16年に平成の大合併で誕生いたしました。

山陰海岸ユネスコ世界ジオパークの海岸線は、地殻変動や火山活動、海蝕によって生じた奇岩・怪岩が特徴の風光明媚な海岸線で、なかでも全国最大級の鳴き砂の浜、琴引浜は国の天然記念物や名勝に指定されています。

山地には北近畿最大級のブナ林が広がり、山々から流れる河川の流域には盆地が形成されています。

豊かな自然を背景に高い評価を受けている丹後米、希少価値の高い間人ガニのほか、伝統と風合い豊かな絹織物の丹後ちりめんの産地として知られています。

当消防本部は、昭和62年10月に丹後広域消防組合消防本部として業務を開始し、平成16年からは京丹後市消防本部として1本部・1署・2分署・1分遣所、職員97名で現在に至ります。

災害が多様化するなか、消防行政への期待は日増しに大きくなっているところですが、市民が安全安心に暮らせるまちを目指し、日々業務に努めてまいります。



【表紙写真の説明】 経ヶ岬灯台（重要文化財建造物）

明治29年（1896年）に起工し、初点灯は明治31年（1898年）12月25日で、国内に5ヶ所のみフレネル式1等3連閃光レンズを採用し、これは灯台のレンズとしては日本最大級の大きさで第1等灯台に指定されています。

山陰海岸ジオパークの東端にあたる丹後半島の最北端・経ヶ岬の海拔140メートルの断崖に建つ白亜の灯台で「京の百景」に選ばれた景勝地でもあります。

日没から日の出までの時間を灯火し、東は福井県の越前岬から西は兵庫県の城崎や竹野海岸でも確認でき、経ヶ岬沖を行き交う船舶の安全を守り続けています。

令和7年度通常総会開催

令和7年度通常総会が6月9日（月）午後3時から、ホテルグランヴィア京都 5階古今の間において開催されました。

拝師副会長の開会宣言に続き、定款の定めにより瀧中昇会長を総会の議長に選任し、議事録署名人の指名の後、議案審議に入り、次の3議案について慎重に審議が行われました。



写真提供 建設経済新聞社（総会並びに会長及びご来賓あいさつ）

- 第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算承認に関する件**
- 第2号議案 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件**
- 第3号議案 役員選任に関する件**

審議の結果、いずれの議案も賛成多数で原案どおり可決承認されました。

なお、第1号議案及び第2号議案の概要について本号に掲載しましたので、ご覧ください。

また、第3号議案の役員改選の結果及び総会後の理事会により瀧中昇氏が会長に選出された他、副会長、理事、監事の役員が次のとおり選任されました。

役員	企業名等	氏名	所在地	所属委員会
会長	北山防災(株)	瀧中 昇	北区	
副会長	門野電気システム(株)	門野 正宣	左京区	総務委員会
副会長	(株)大同	拝師 知行	右京区	事業経営委員会
副会長	大槻ポンプ工業(株)	大槻 浩平	綾部市	公益委員会
理事	日本管工業(株)	奥村 昇三	中京区	事業経営委員会
理事	日本防火産業(株)	船岡 伸季	中京区	公益委員会
理事	弥栄電設工業(株)	嵯峨根仁史	舞鶴市	総務委員会
理事	(株)ヤマト商会	横川 幸生	下京区	総務委員会
理事	森電気工業(株)	森 政博	京丹後市	公益委員会
理事	岡山電設(株)	岡山 秀行	綾部市	総務委員会
理事	馬場水道工業(株)	馬場 博嗣	左京区	総務委員会
理事	オカモト防災(株)	岡本 憲明	伏見区	総務委員会
理事	三和電気工業(株)	小野 俊輔	伏見区	公益委員会
理事	(株)近藤防災	近藤 佳臣	伏見区	事業経営委員会
理事	(株)伸光テック	伊東 邦夫	中京区	事業経営委員会
理事	(株)昭和電工社	進藤 久和	左京区	公益委員会
理事	大春商事(株)	岡本 直樹	宇治市	総務委員会
理事	春日設備工業(株)	八木 啓之	南区	公益委員会
理事	中島電気工事(株)	中島 涼太	中京区	事業経営委員会
理事	(株)コスモメンテナンス	奥野 寛	右京区	事業経営委員会
専務理事	(一社)京都消防設備協会	荒木 俊晴	中京区	
監事	東報防災(株)	安藤 寛	上京区	
監事	(株)山下電気防災工業	山下 克	南区	
監事	植田順税理士事務所	植田 順	伏見区	

令和7年度通常総会懇親会「ごあいさつ」



一般社団法人 京都消防設備協会
会長 **瀧中 昇**

本日は、ご来賓をはじめ、ご臨席いただきました皆様には公私ともご多忙の中、懇親会へご出席いただき、まことにありがとうございます。

ご来賓、会員の皆様並びに関係各位におかれましては、平素より当協会の事業運営に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年は、あの阪神淡路大震災から30年の節目の年でございます。

改めて当時の映像やニュースを目にすると、その甚大な被害や被災された方々の苦難の様子に、心が締め付けられるとともに、南海トラフを震源とする巨大地震の発生も懸念されている状況に身の引き締まる思いでございます。

また、梅雨入りの時候を迎え豪雨災害や台風など、さまざまな災害に対して日頃からの備えが重要であると認識を新たにしているところでございます。

さて、本日の総会では、昨年度の事業結果及び決算報告、本年度の事業計画及び予算案並びに役員改選についてご審議をいただき、誠にありがとうございました。

令和7年度におきましても、本日のご審議いただいた結果をもとに、微力ながら協会の事業運営、発展に尽くしてまいり所存でございます。

私どもの協会では、火災予防対策の普及、消防用設備の設置及び保守管理に携わる方の育成や資質の向上、消防用設備等点検済表示制度の運用などの事業を推進してまいりましたが、災害の多様化や火災が多発する傾向を踏まえ、引き続き府民の皆様のかげがえのない命と財産を、災害から守るべく、取り組んでまいりたいと考えております。

今後も、協会事業を通じて社会貢献を進めるため、引き続き関係各位の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、本日ご参会いただきました皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして、はなはだ簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

令和7年度通常総会懇親会「祝辞」



京都府危機管理部
防災監 **澤熊 輝力**

令和7年度 一般社団法人 京都消防設備協会の通常総会を、滞りなく終えられ、関係各位の御参加のもと、このように懇親会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、平成元年の設立以来、長年にわたって京都府の消防防災行政の推進に格別の御理解、御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年の京都府内における火災の出火件数は、速報値で551件となっており、前年比で35件の増加となっております。一方で、住宅用火災警報器の府内における設置率につきましては、約89.5%、条例適合率も約68.7%と、それぞれ依然として全国平均を上回っており、府民の皆様の高い防火意識がうかがえる状況であります。

瀧中会長を先頭に、貴協会の皆様におかれましては、各消防本部など関係機関との連携のもと、府民や防火対象物の関係者への火災予防啓発、消防設備士など防災業務に携わる人々の知識・技術を向上させる取り組みなど、さまざまな防火防災事業を積極的に推進していただいているところであります。

また、近年は、オンライン講習やスマート申請といったデジタル化にも御対応いただいています。こうした日頃の取組みに深く感謝申し上げますとともに、府民の安心安全の確保のため、引き続き、皆様方の御活躍を御期待申し上げます。

京都府といたしましては、能登半島地震の教訓などを踏まえ、第四次京都府戦略的地震防災対策指針及び推進プランの改定を行い、先日の京都府防災会議で御了承いただきました。今後も引き続き、危機管理の拠点として昨年7月に全面運用を開始しました常設の危機管理センターの機能も活用しながら、より災害に強い京都の実現に向けて、総合的な防災・減災対策の取組を進めてまいります。

引き続き、貴協会をはじめ、府内の消防関係団体の皆様と緊密に連携しながら、消防防災体制の充実、強化に努めてまいりますので、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本日の懇親会の中で、皆様につながりが更に深まりますことを願いますとともに、一般社団法人京都消防設備協会の今後益々の御発展と、本日お集まりの皆様のお健勝、御多幸を切にお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和7年度通常総会懇親会「祝辞」



京都府消防長会
会長 **名畑 徹**

本日は、一般社団法人京都消防設備協会の令和7年度通常総会が、無事開催されましたこと、またこのように大変多くの皆様お集りのもと、懇親会が開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

瀧中会長をはじめ、役員、会員の皆様には、京都府内の消防行政の推進に対し、格別の御理解と御協力をいただいておりますことに、改めてお礼申し上げます。

さて、本年は阪神淡路大震災から30年の節目の年となります。また、昨年は元日に発生した能登半島地震、9月20日からの奥能登豪雨災害など、日本各地で災害が相次いでおり、多くの方々が犠牲になりました。

そのような中、昨年8月に宮崎県日向灘を震源とする地震が発生した際には、気象庁から初めて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されるなど、近年大規模化・激甚化する災害に対する備えを、より一層強化する必要があると感じているところです。

また、今年に入ってから、各地で大規模な林野火災が相次いで発生しております。火災への備えもこれまでと同様に取り組んでいるところではありますが、貴協会におかれても、日頃から住宅用火災警報器の普及促進や、消防用設備等の維持管理の徹底に御尽力いただいていることに感謝申し上げますとともに、京都府消防長会といたしましても、京都府及び貴協会と連携を図りながら、消防用設備等の適切な維持管理や設置指導等、引き続き火災予防の取り組みに傾注してまいります。

今後も、府民の皆様がより安全に暮らすことができる社会の実現に向け、京都府内消防本部一同邁進してまいりますので、皆様のより一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、一般社団法人京都消防設備協会の今後益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝と御多幸を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和6年度事業報告書及び収支決算（第1号議案関係）

令和6年度は、協会の目的達成のため、消防用設備等に関する講習会や研修会をはじめ様々な事業に取り組み、また、出火防止に向けた取り組みとして、消防用設備等の点検報告率の向上、住宅用火災警報器の普及促進を目指した啓発活動や避難困難者住宅に設置されている住宅用火災警報器の点検奉仕活動などの公共性の高い事業について、京都府及び府内各消防本部と連携して積極的に取り組みました。

1 通常総会

令和6年6月11日(火) ホテルグランヴィア京都 出席者134名(委任状出席含む)

2 講習会・研修会等

(1) 消防設備士講習

京都府知事から消防法第17条の10に定める消防設備士講習の事務を受託し実施しました。

第1回 京都市会場 令和6年9月19日～令和6年9月27日

福知山市会場 令和6年10月10日～令和6年10月11日

※期間内の受講申請者数。
(数字)は前年度実績

会場	消火設備	警報設備	避難設備・消火器	特殊消防	計
京都市会場	86 (85)	234 (261)	143 (175)	18 (19)	481 (540)
福知山市会場	28 (37)	52 (69)	—	—	80 (106)
計	114 (122)	286 (330)	143 (175)	18 (19)	561 (646)

第2回 京都市会場 令和7年1月28日～令和7年1月31日

福知山市会場 令和7年2月13日～令和7年2月14日

※(数字)は前年度実績

会場	消火設備	警報設備	避難設備・消火器	計
京都市会場	85 (108)	213 (254)	119 (151)	417 (513)
福知山市会場	—	35 (42)	38 (42)	73 (84)
計	85 (108)	248 (296)	157 (193)	490 (597)

第1・2回の受講者合計 1,051名(1,243名)

(2) 消防設備士受験対策講習

協会の独自事業として、消防設備士試験の受験者を対象に実施しました。

京都市会場 令和6年6月26日～28日

※(数字)は前年度実績

会場	消火設備	警報設備	消火器	計
京都市会場	— (3)	4 (4)	5 (6)	9 (13)

受講者合計 9(13)名

(3) 消防設備点検資格者講習及び再講習

(一財)日本消防設備安全センターから消防設備点検資格者講習及び再講習の事務委託を受け講習を実施しました。

* 消防設備点検資格者講習

※(数字)は前年度実績

区分	講習年月日	場所	受講者数
第1種	令和6年5月22日～24日	ハートピア京都	79 (78)
第2種	令和6年5月29日～31日	ハートピア京都	79 (76)

受講者合計 158(154)名

* 消防設備点検資格者再講習

※(数字)は前年度実績

区分	講習年月日	場所	受講者数
第1種	令和6年6月19日	ラポール京都	79 (101)
第2種	令和6年6月20日	ラポール京都	83 (95)

受講者合計 162(196)名

(4) 消防用設備等技術研修会

協会の消防用設備等の新たな知識、技能の習得を目的に計画。

京都市会場については、台風10号の接近に伴い中止しました。

(京都市会場)

日時	令和6年8月29日(木) 13:30～16:30
場所	京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都 3階 大会議室
テーマ	「予防行政の動向について」 講師 総務省消防庁予防課 総務事務官 山崎 俊寛 氏
	「泡消火薬剤 PFOS 等の対応について」 講師 ニッタン(株) 施工品質管理部 部長 入江 健一 氏
出席者数	79名(参加予定者)

(北部会場)

日 時	令和7年2月21日(金) 午後1時30分から午後3時15分まで
場 所	舞鶴西総合会館
テーマ	「泡消火薬剤PFOS等の対応について」 講師 ニッタン(株) 施工品質管理部 部長 入江 健一 氏
出席者数	42名

3 消防用設備等点検済表示制度の推進

消防用設備等の維持管理の徹底、点検実施者の責任の明確化及び防火対象物の点検の確実な履行の促進を目的に実施しました。

(1) 消防用設備等点検済表示管理委員会

令和6年 6月18日(火) 幹事会(書面会議)

令和6年 8月14日(水) 幹事会(書面会議)

令和6年12月 6日(金) 表示管理委員会 京都ホテルオークラ5階会議室

(2) 消防用設備等点検済表示登録会員数

令和7年3月31日現在

※(数字)は前年度末会員数

消防用設備等点検済表示登録会員数	
北 部	20(20)社
京都市内	96(97)社
南 部	21(19)社
他 府 県	2(2)社
計	139(138)社

(3) 京都府・消防用設備等セミナー(消防用設備等の適正点検に向けて)

あらゆる法令を遵守する意識の醸成と、表示登録会員等の業務資質の向上及び点検済表示制度に対する理解と認識を高めることを目的に実施しました。

日 時	令和6年11月28日(木) 午後1時30分から午後4時30分まで
場 所	京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都 3階 大会議室
テーマ	・最近の消防法令等の改正及び消防用設備等の点検、点検報告時の留意事項 ・消防用設備等の奏功及び事故事例 講師 (一財)日本消防設備安全センター違反是正支援センター 調査役 三浦 祐也 氏 ・ 上席調査役 岩佐 克志 氏
出席者数	85名(正会員33名・府内消防職員49名、他府県消防職員等3名)

(4) 点検推進指導員による巡回訪問

点検済証の信頼回復を目的に点検推進指導員が府内の表示登録会員を訪問し、点検報告制度と表示登録制度について再確認を行うとともに、情報交換を行いました。(13会員 4対象物)

(5) 点検済票(ラベル)の交付状況

令和7年3月31日現在

※(数字)は前年度実績

点検済票(ラベル)の交付状況	
消火器用	603,800枚 (618,000)枚
設備用(消火器以外)	173,800枚 (165,300)枚
計	777,600枚 (783,300)枚

4 公益事業関係

避難困難者住宅の火災警報器点検奉仕活動

京都市の公的給付事業により避難困難者宅に設置されている火災警報器の点検奉仕活動を実施しました。

令和6年9月13日(金)

京都市内5行政区1地域(醍醐) 避難困難者住宅合計14カ所 正会員6名参加

5 広報事業関係

(1) 会報「まもり」発行

会報「まもり」第91号を令和6年8月に発行、第92号を令和7年3月に発行しました。

(2) 協会ホームページの更新

協会ホームページの情報が最新となるよう、令和6年7月と令和7年2月に更新しました。

6 文化厚生事業関係

研修及び会員相互の親睦を目的に、視察研修を実施予定しました。

令和6年11月6日(水) 大塚オーミ陶業(株)信楽工場 会員参加16名。

7 その他事業

(1) 業務用図書等の斡旋、頒布

消防設備士受験対策講習会では、(一財)日本消防設備安全センター発行のテキストの注文取次、事務

所における頒布の他、「建築消防advice」等の参考図書を斡旋、頒布しました。

- (2) 防火・防災基準点検済証(セイフティマーク)、防火・防災優良認定証の頒布
令和6年3月31日現在

※(数字)は前年度実績

防火優良認定証	10(3)	防火基準点検済証	2(4)
防災優良認定証	-(-)	防災基準点検済証	2(4)
防火・防災優良認定証	17(3)	防火・防災基準点検済証	-(2)
		文字プレート	11(14)

- (3) 廃棄消火器の処分等

「古い消火器の廃棄処分」や「防火相談」「住宅防火対策」など府民の方々から多く寄せられるご相談について、協会ホームページに関連情報を提供するとともに、会員の皆様方のご協力を頂いております。

8 表彰関係

- (1) 令和6年度京都消防設備協会表彰

優良会員表彰	有限会社近藤防災	近藤 佳臣
優良従業員表彰	株式会社ヤマト商会	田辺 昇平
	春日設備工業株式会社	谷 篤司
	オカモト防災株式会社	兼谷 拓美
	ホーセック株式会社	毛利 秀宜
	大槻ポンプ工業株式会社	高倉 正和
	岡山電設株式会社	中野 洋介
優良事業所表彰	株式会社イツミ消火器	

- (2) 消防設備関係功労者等表彰

令和6年11月1日(金)東京都港区明治記念館で実施された令和6年度消防設備関係功労者等表彰式において、次の方々を受賞されました。

消防庁長官表彰

消防庁長官表彰	馬場水道工業(株)	馬場 博嗣
---------	-----------	-------

一般財団法人日本消防設備安全センター理事長表彰

消防用設備点検済表示制度推進優良事業所表彰	京阪防火設備株式会社
消防設備保守関係者表彰	小野 俊輔
消防設備保守関係者表彰	那谷 章

9 会員数

令和7年3月31日現在

正会員	189社(191社)
賛助会員	27社(26社)

貸借対照表

令和7年3月現在

(単位:円)

科目	令和6年度	令和5年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金	257,984	416,168	-158,184
郵便貯金	9,844,483	9,435,483	409,000
普通預金/京都銀行	11,165,616	13,234,806	-2,069,190
定期預金/中信	9,005,576	9,005,423	153
(現金預金)	30,273,659	32,091,880	-1,818,221
未収/正会員会費収入	0	36,000	-36,000
未収/点検済ラベル収入	1,214,250	1,373,525	-159,275
未収/図書等普及事業収入	0	1,300	-1,300
未収/通信運搬費	4,696	2,834	1,862
未収/更新手数料	220	0	220
未収/消防設備士講習	180,591	0	180,591
未収/点検資格者再講習	298,452	0	298,452
未収/受取広告料	0	20,000	-20,000
前払金	0	512,520	-512,520
前払費用	37,945	0	37,945
立替金	2,475	0	2,475
貯蔵品	830,918	424,841	406,077
出資金	500	500	0
【流動資産合計】	32,843,706	34,463,400	-1,619,694

科目	令和6年度	令和5年度	増減
定期預金/京都銀行	3,000,000	3,000,000	0
【基本財産合計】	3,000,000	3,000,000	0
事業積立定期預金/京都銀行	1,800,120	1,500,096	300,024
【特定資産合計】	1,800,120	1,500,096	300,024
【固定資産合計】	4,800,120	4,500,096	300,024
【資産合計】	37,643,826	38,963,496	-1,319,670
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	1,186,338	915,576	270,762
未払消費税等	425,900	427,000	-1,100
預り金	235,602	453,918	-218,316
仮受金	144,000	0	144,000
未払法人税等	1,658,900	1,197,000	461,900
【流動負債合計】	3,650,740	2,993,494	657,246
【負債合計】	3,650,740	2,993,494	657,246
III 正味財産の部			
【一般正味財産】	33,993,086	35,970,002	-1,976,916
【正味財産合計】	33,993,086	35,970,002	-1,976,916
【負債及び正味財産合計】	37,643,826	38,963,496	-1,319,670

正味財産増減計算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

(単位：円)

科目	令和6年度	令和5年度	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増益の部			
(1) 経常収益			
【基本財産運用益】	60	60	0
基本財産受取利息	60	60	0
【特定資産運用益】	24	24	0
特定資産受取利息	24	24	0
【受取入会金】	10,000	20,000	-10,000
受取入会金	10,000	20,000	-10,000
【受取会費】	7,504,000	7,534,000	-30,000
正会員受取会費	6,804,000	6,894,000	-90,000
賛助会員受取会費	700,000	640,000	60,000
【事業収益】	10,357,764	11,203,725	-845,961
消防設備士講習受託収益	6,807,146	7,849,725	-1,042,579
点検資格者講習受託収益	2,464,660	2,269,960	194,700
点検資格者再講習収益	980,958	986,040	-5,082
消防設備士育成事業収益	105,000	98,000	7,000
【その他事業収益】	21,459,284	20,388,491	1,070,793
点検済ラベル	20,458,636	20,057,466	401,170
更新手数料	705,000	0	705,000
登録手数料	20,000	10,000	10,000
容器弁バルブ類点検済証	1,750	15,120	-13,370
図書等普及事業収入益	273,898	305,905	-32,007
【受取補助金等】	250,000	292,200	-42,200
受取研修助成金	250,000	292,200	-42,200
【受取寄付金】	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
【雑収益】	766,608	500,423	266,185
受取利息	7,748	349	7,399
雑収益	678,860	420,074	258,786
受取広告料	80,000	80,000	0
(経常収益計)	40,347,740	39,938,923	408,817
(2) 経常費用			
【事業費】	19,646,631	20,025,193	-378,562
賃金	7,546,885	7,111,804	435,081
退職給付費用	264,000	264,000	0
広報啓発費	314,000	277,000	37,000
消耗品費	46,451	57,617	-11,166
賃借料	1,738,780	1,858,510	-119,730
修繕費	149,930	52,800	97,130
租税公課	871,400	890,500	-19,100
旅費交通費	337,140	422,840	-85,700
通信運搬費	684,678	700,680	-16,002
支払手数料	15,180	15,717	-537
印刷製本費	402,520	573,210	-170,690
諸謝金	1,206,454	1,441,801	-235,347
リース料	714,024	727,020	-12,996
保守料	189,594	158,413	31,181
図書等購入費	1,745,163	2,085,230	-340,067

科目	令和6年度	令和5年度	増減
点検済証購入費	3,013,639	2,954,969	58,670
販売図書費	219,771	239,187	-19,416
交際接待費	127,822	132,411	-4,589
理事会等会議費	0	24,684	-24,684
雑費	59,200	36,800	22,400
【管理費】	21,019,125	22,189,519	-1,170,394
役員報酬	4,710,000	5,340,000	-630,000
給料手当	4,345,092	4,622,687	-277,595
法定福利費	1,833,965	2,247,569	-413,604
福利厚生費	41,834	53,603	-11,769
総会費	1,576,944	1,458,101	118,843
会報発行費	448,800	448,800	0
広報啓発費	56,000	56,000	0
消耗品費	273,534	176,039	97,495
賃借料	2,337,255	2,330,235	7,020
保険料	68,316	66,419	1,897
修繕費	0	0	0
租税公課	11,194	11,811	-617
旅費交通費	1,229,820	1,402,150	-172,330
通信運搬費	358,858	431,573	-72,715
支払手数料	18,467	283,778	-265,311
印刷製本費	317,350	385,990	-68,640
諸謝金	71,137	93,411	-22,274
顧問料	1,100,000	1,100,000	0
減価償却費	0	0	0
負担金諸会費	137,200	211,200	-74,000
リース料	845,619	729,458	116,161
保守料	210,408	248,657	-38,249
交際接待費	903,058	342,457	560,601
理事会等会議費	38,488	13,962	24,526
新聞図書費	85,186	85,019	167
雑費	600	600	0
寄付金	0	50,000	-50,000
(経常費用計)	40,665,756	42,214,712	-1,548,956
(当期経常増減額)	-318,016	-2,275,789	1,957,773
【雑損失】			
雑損失			
【法人税、住民税及び事業税】	1,658,900	1,197,000	461,900
法人税、住民税及び事業税	1,658,900	1,197,000	461,900
(経常外費用計)	1,658,900	1,197,000	461,900
2 経常外増減の部			
【一般正味財産増減額】	-1,976,916	-3,472,789	1,495,873
【当期一般正味財産増減額】	-1,976,916	-3,472,789	1,495,873
【一般正味財産期首残高】	35,970,002	39,442,791	-3,472,789
【一般正味財産期末残高】	33,993,086	35,970,002	-1,976,916
II 指定正味財産増減の部			
【当期指定正味財産増減額】	-1,976,916	-3,472,789	1,495,873
【指定正味財産期首残高】	35,970,002	39,442,791	-3,472,789
【指定正味財産期末残高】	33,993,086	35,970,002	-1,976,916
III 正味財産期末残高	33,993,086	35,970,002	-1,976,916

令和7年度事業計画（第2号議案関係）

月別	事業	備考	
4月	・会計事務監査（22日・火） ・4月度 理事会（24日・木）		
5月	・第1種 消防設備点検資格者 本講習（28日・水～30日・金） ・5月度 理事会（15日・木）	受講申請受付 3 / 21 ~ 4 / 18	
6月	・第2種 消防設備点検資格者 本講習（4日・水～6日・金）	※受講申請受付 4 / 21 ~ 5 / 9	
	・第1種 消防設備点検資格者 再講習（18日・水） ・第2種 消防設備点検資格者 再講習（19日・木）		
	・法令（共通）及び第4類 消防設備士受験対策講習会（25日・水） ・第4類 消防設備士受験対策講習会（26日・木） ・第6類 消防設備士受験対策講習会（27日・金）	※受講申請受付 5 / 12 ~ 6 / 23	
	・通常総会（9日・月） ・6月度 理事会（9日・月）		
	7月	・7月度 理事会（31・木）	
	8月	・会報「まもり93号」発行 ・消防用設備等技術研修会（28日・木）	京都市消防局
9月	・第1回 消防設備士再講習・京都市会場・特殊設備（17日・水） ・第1回 消防設備士再講習・京都市会場 （18日・木、19日・金、25日・木、26日・金）	受講申請受付 8 / 1 ~ 8 / 25	
	・避難困難者宅火災警報器点検奉仕活動（中旬） ・9月度 理事会（18日・木）		
10月	・第1回 消防設備士再講習・福知山市会場（7日・火、8日・水） ・消防設備協会会長会議及び安全センター表彰式（17日・金） ・中間決算監査	明治記念会館	
	11月	・視察研修（初旬） ・11月度 理事会（20日・木）	
12月	・点検済表示管理委員会（上旬）		
1月	・1月度 理事会（14日・水） ・賀詞交歓会（14日・水）	グランヴィア京都	
	・第2回 消防設備士再講習・京都市会場（27日・火～30日・金）	受講申請受付	
2月	・第2回 消防設備士再講習・福知山市会場（17日・火、18日・水）	11 / 28 ~ 12 / 22	
	・近畿ブロック消防設備協会連絡協議会（上旬） ・北部支部 消防用設備等技術研修会（中旬）		
3月	・会報「まもり94号」発行 ・3月度 理事会（26日・木）		

消防設備士資格試験（第1回） 福知山市 7 / 13 京都市 7 / 20

消防設備士資格試験（第2回） 京都市 3 / 15

* 各委員会は別途日程等を計画し実施予定

消防関係法令通知コーナー

最近の消防用設備関係の法令改正等（通達・通知等）

【令和7年3月の通知・通達について】

- **消防予第103号** 退職自衛官の消防設備関連の企業における活用について
- **消防予第129号** 消防機関へ通報する火災報知設備の取扱いについて
- **消防予第134号** 大規模倉庫における効果的な防火管理に関するガイドラインについて（令和7年3月28日）
- **消防予第135号** 関係者不在の宿泊施設における防火安全対策ガイドラインについて（令和7年3月28日）
- **消防予第139号** 「消防法施行令の一部を改正する政令等の運用について（通知）」の一部改正について（令和7年3月28日）
- **消防予第140号** 感震ブレーカーの普及推進に関する計画の策定等について（令和7年3月28日）
- **消防予第141号** 消防用設備等に係る執務資料の送付について（令和7年3月31日）
- **事務連絡** 「消防用設備等の試験基準及び点検要領並びに防火対象物点検の点検要領の一部改正について（通知）」の一部訂正について（令和7年3月31日）

【令和7年4月の通知・通達について】

- **事務連絡** 住宅用火災警報器等及び消火栓の配布モデル事業への協力について（令和7年4月4日）
- **事務連絡** 消防用設備等の設置に係る金融上の措置について（情報提供）（令和7年4月10日）
- **事務連絡** 避難器具（緩降機）の使用方法に係る説明動画について（令和7年4月21日）

【令和7年5月の通知・通達について】

なし

【令和7年6月の通知・通達について】

- **事務連絡** 劇場等における車椅子使用者客席の同伴者席の固定に係る取扱いについて（令和7年6月26日）

【令和7年7月の通知・通達について】

- **消防予第294号** 「火災予防分野における技術カタログ」の更新について（令和7年7月7日）

消防用設備関係の法令改正等（通達・通知等）

総務省消防庁ホームページ

<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/2025/>



防火基準適合表示制度について

京都市消防局ホームページ

<https://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/page/0000166254.html>

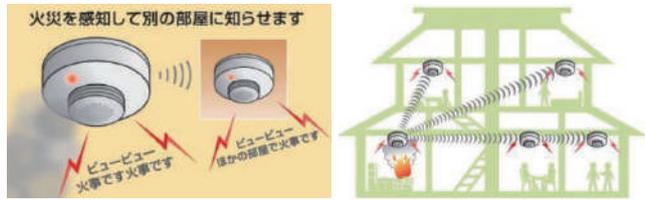


特定小規模施設用自動火災報知設備の設置範囲の拡大について

「火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令及び特定小規模施設における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令の一部を改正する省令」(令和6年総務省令第74号)が令和6年7月23日に公布・施行され、特定小規模施設用自動火災報知設備の設置範囲が拡大されました。今回は当該改正内容の概要についてお知らせします。

◇ 特定小規模施設用自動火災報知設備とは

特定小規模施設用自動火災報知設備(以下「特小自火報」という。)は、無線式の連動型警報機能付感知器のみで設置することができるもので、簡易な工事で設置が可能となります。一方、無線の伝搬可能範囲や通常の自動火災報知設備の受信機が担っている火災発生区域の表示が、特小自火報では担保されていないこと等から、設置可能施設は原則として延べ面積300m²未満の小規模な施設に制限されています。



特小自火報の設備イメージ

画像出典：令和5年度 総務省消防庁「予防行政のあり方に関する検討会」資料

◇ 今回の改正内容

1 用途等の範囲拡大について

これまで、自動火災報知設備の設置義務がある小規模な施設(延べ面積300m²未満)であっても、飛行機又は回転翼航空機の格納庫((13)項口)、文化財建造物((17)項)、無窓階又は地階で100m²以上の遊技場((2)項口)、飲食店((3)項口)等の防火対象物については、特小自火報の設置が認められておりませんでした。改正後はこれらの用途についても特小自火報の設置が可能となりました。

2 階数制限の緩和について

無線式の連動型警報機能付感知器のみで構成される特小自火報は、出火元の位置に係る表示機能がないため、警戒区域が一の防火対象物に限られていたことから、3階以上の階を有する防火対象物には設置が認められていませんでしたが、改正後は延べ面積が300m²未満であれば、警戒区域が2以上の防火対象物(特定一階段等防火対象物を含む。以下同じ。)にあっても一定の条件^{※1}を満たせば、特小自火報の設置が可能となりました。

※1 警戒区域が2以上の防火対象物に設置する場合の条件

- ・火災の発生場所が特定できるメッセージ機能^{※2}を備えた連動型警報機能付感知器であること。
- ・廊下や階段等に感知器が設置されること。



※2 「火災の発生場所が特定できるメッセージ機能」は左図のとおり、「火災を感知した階(又は階段)」を発することで足りることとされています。

(令和6年7月23日付け消防庁予防課長通知(消防予第363号)記1)

警戒区域が2以上かつ延べ面積が300m²未満である対象物の特小自火報の設置例

(画像出典:令和6年7月23日付け消防庁予防課長通知(消防予第363号)別添1)

京都市消防局からのお願い

～消防用設備等点検結果報告書への泡消火薬剤型式番号の記載に係る協力依頼について～

昨年度、京都市内において、非火災時に泡消火設備が作動し、泡消火薬剤が放出する事案が複数発生しました。放出された泡消火薬剤が「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」の規制対象となっている場合は、消防隊の現場活動に制限がかかるため、当局では、京都市内の防火対象物で使用されている泡消火薬剤の種類を可能な限り把握し、円滑な現場活動を目指しているところです。

つきましては、当局から京都消防設備協会に対して、消防用設備等点検結果報告書への泡消火薬剤の型式番号の記載に係る協力依頼をさせていただいております。詳細については、協会のホームページに掲載いただいておりますので御確認をお願いします。

京都市消防局予防部指導課 設備企画担当 電話番号 075-212-6924

協 会 だ よ り

協会員の叙勲受章

令和7年春の受勲において当協会正会員で京都電業協会副会長の(株)ハンシン電気代表取締役 田中繁信様が長年にわたるご功勞により旭日双光章を受章されました。

5月8日(水)瀧中会長が田中様を訪問し、祝意とともに今後ますますのご健勝を伝えられました。



令和7年度消防用設備等技術研修の開催

本年度の研修会を次のとおり開催いたします。

- ・開催日時 …… 令和7年8月28日(木) 13:30 ~ 16:45 (受付開始13:00)
- ・会場 …… 京都市消防局本部庁舎 7階 作戦室
(京都市中京区押小路通河原町西入榎木町450の2)
※会場に駐車場はございません。
- ・講演 …… 総務省消防庁予防課の職員等による講演を予定しています
- ・対象者 …… 一般社団法人京都消防設備協会会員並びに京都府職員、京都府下消防職員等

会員の入会について

(令和7年3月~同7月末)

入会正会員

5月 1日	ALSOK双栄株式会社 関西支店	中村 保彦	宇治市
5月 1日	高瀬防災ラボラトリー	高瀬 大介	福知山市

行政短 信

令和7年4月の定期異動にともない、京都府内の消防機関幹部の人事異動がありましたので紹介させていただきます。



宇治市消防本部
消防長
木戸 英明 氏



京都中部広域消防組合消防本部
消防長
田村 康明 氏



城陽市消防本部
消防長
宮川 浩正 氏



八幡市消防本部
消防長
森本 利行 氏



久御山町消防本部
消防長
辻村 義幸 氏



精華町消防本部
消防長
今井 清 氏



京丹後市消防本部
消防長
山添 勝弘 氏

編集後記

「まもり」93号をお届けいたします。

暑さ、寒さが不規則に繰り返す不安定な気候のもと、京都も梅雨入りとなった本年6月9日に通常総会及び多くのご来賓のご臨席のもと懇親会を開催いたしました。改めて、多くの皆様方のご協力、ご支援に感謝申し上げます。

「令和の米騒動」と称される昨年来の米価の高騰は、下落傾向にあるとはいえ、いまだに平年の水準に戻る気配が見えない状況となっています。そんな最中、農水大臣の交代を契機に、備蓄米が大量かつ随意契約により市場に放出され、このお米を求めて多くの方が、各地で開店前の店頭に並ばれている光景が幾度となく報道されました。本来、備蓄米は震災など大規模災害時等の応急救護用の食料であるとされていることから、様々な観点での議論がなされていますが、一日も早く多くの方が納得できる価格で容易に手に入るよう食の安全を願うばかりです。

今回表紙を飾らせていただいた京丹後市の「経が岬灯台」は、丹後半島の最北端に位置し、海域の安全確保はもとより、百年を超える歴史の重みを感じさせる重要文化財であり、どこかしら優しさをたたえる造形とあいまって、我々に包み込むような安心感を与えています。

これからも皆様に役立つ情報を発信し、より良い誌面づくりに努めてまいりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

今しばらく暑い日が続くようですが、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

総務委員会 **岡山 秀行**

レストランや施設も充実ワンランク上のひとときを

至福の寛ぎが、京の玄関口のすぐそばに。



JR
京都駅
直結



ホテルグランヴィア京都

ホテル最新情報・
お得情報は
公式サイトで公開中!

【ご予約・お問い合わせ】

TEL.075-344-8888

ホテルグランヴィア京都



京都駅
八条口より南へ
徒歩 2分



ホテルヴィスキオ京都

ホテル最新情報・
お得情報は
公式サイトで公開中!

【ご予約・お問い合わせ】

TEL.075-280-1111

ホテルヴィスキオ京都



消火栓メーカー 株式会社 初田製作所 の販売会社

消防用設備機器販売 ヨコイ京滋販売 株式会社



壁と一体化した
デザイン型消火栓を
オーダーメイドで承っております。



省施工性・時間短縮
消火栓フレキシブルユニット

《営業品目》

- * 屋内消火栓設備用機器
- * 屋外消火栓設備用機器
- * 連結送水管設備用機器
- * スプリンクラー設備用機器
- * パッケージ型消火設備
- * ビット消火システム(YPS)
- * 消防用ホース(YOKOI)
- * 消火器
- * 移動式粉末消火設備

★ 消防申請作成・消防ポンプ車での放水テスト
・連結送水管耐圧試験も承っております。

本 社 〒526-0015 滋賀県長浜市神照町 818-5
TEL(0749)63-7703 FAX(0749)63-7888
京都営業所 〒601-8144 京都府京都市南区上鳥羽火打狹町 234
TEL(075)644-5253 FAX(075)644-5254